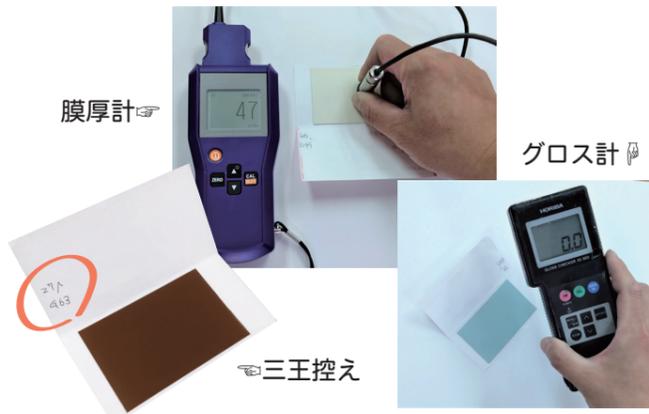


# 三王溶剤調色工場より

いつも大変お世話になっております、調色製造部南原です。おかげさまで調色歴40年となりました。この度、6月に「調色ってスゴイ」と題して塗料報新聞社から取材を受けました。取材内容は調色技術から品質管理、CCMの活用、メタリック色やカラークリアーのデータ管理までさまざま、私自身楽しい取材となりました。8月号の「塗布と塗膜」調色特集に掲載されているので、気になる方は見てみてください。

さて、いままでVol.13から5回にわたり、粉体塗料コーナーの塗膜物性検査紹介の連載を行ってきました。今回は溶剤調色工場での品質管理について少しご紹介いたします。調色し完成した塗料は職人の目視での確認を行い、CCMを使って色差を計測後、膜厚・グロスを測って三王に控えとして残す塗板と合わせて記録しています。同じ色を追加でご注文頂いた際、同じ条件で同じ色が出るように調色しています。



## 美大 粉体塗装ワークショップ

Powder Coating Workshop

7月27日、28日の二日間にわたり、多摩美術大学CMTL(シムテル)にて粉体塗装のワークショップを行いました。ワークショップのたびに増加するチョコナ粉体塗料が第四回目となる今回で計67色となり、色数が増えたことで選ぶのが難しくも楽しそうにしました。キャンディレッドの足付けの際に、ステンレス素地のヘアライン加工に挑戦している学生もいました。表面から塗布しただけで、静電気力で裏面にも塗料が回り込んで塗料がくっつくことや、塗装に失敗しても焼く前なら払い落して塗り直しができることなど、粉体ならではの体験に学生からは感嘆の声が上がっていました。ワークショップ後のアンケートでは、粉体塗装ワークショップの満足度も高く、作品に使ってみたいという学生も数名おり、粉体塗装への期待と関心の高さを感じました。



## CO<sub>2</sub>排出量の意識調査アンケート

先日、コーティングコンソーシアムの「CO<sub>2</sub>排出量にかかわる意識調査アンケート」のレポートが発表されました。アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。アンケート結果としては、現時点でCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいない事業者が63%と半数を超えていました。CO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みは優先順位が低いようで、いまは考えていないとの理由が大半でした。また、CO<sub>2</sub>排出量の割合は塗料製造によるもの・電気・ガスの三項目で全体の90%を占めているものの、事業者ごとに割合は異なっているため、考える対策も様々になります。レポートではCO<sub>2</sub>削減事例も紹介しているので、気になる方はぜひ見てみてください。  
(<http://www.e-toryo.co.jp/others/cooco/>)



**編集後記** SANOH NEWS vol.19 をご覧いただきありがとうございます。編集長です。本号のテーマカラーは照柿の実のような色、柿色です。秋モチーフというと紅葉を使いたくなり似た雰囲気になりがちなので、今回はドットやストライプ等ポップなテクスチャを使ってみました。かくれんぼはどこかに手紙が一通。探してみてください。

PAINT  
COATING  
EQUIPMENT

# SANOH NEWS

Paint & Coating Information

秋号

Vol.19

2023.10

いつもお世話になっております。三王です。  
SANOH NEWS Vol.19 をご覧いただきありがとうございます。

本号のテーマは「災害対策」です。

たくさんの使える情報をお届けしますのでよろしくお祈いします！

Vol.19  
主な内容

防災関連製品や心得…関東大震災から100年の節目に  
DXについて③…実際にDXを導入するときの流れを解説  
三王溶剤調色工場より…取材の話と品質管理について



2023年9月1日は関東大震災から100年目の節目となる日でした  
皆さん、災害時の備えはできていますか？  
突然の災害に対応するためには、日ごろから備えておくことが重要です  
三王で災害備蓄品の扱いを始めた年から5年、消費期限も要チェックです



## 三王プレゼント / 災害備蓄品ラインナップ



7年保存レトルト食品  
水もお湯も必要なし！  
調理不要でそのまま食べられます



防災備蓄用7年保存水  
保存水でも品質にこだわった  
黒部の天然アルカリイオン水です



非常用トイレ  
断水時の必需品です  
気になるにおいをバイオの力で分解します



いろいろなアイテムがセットになった  
緊急時車載備蓄セットも！  
詳しくは担当営業へお問い合わせください



塗料・塗装資材の総合商社  
小ロット溶剤調色 小ロット粉体製造  
塗装機器・設備のコーディネーター  
化学で人と自然の共生する明日へ  
[www.san-oh-web.co.jp](http://www.san-oh-web.co.jp)  
info@san-oh-web.co.jp



株式会社 三王  
本社 〒110-0001 東京都台東区谷中2-6-29  
TEL: 03-5842-1921 FAX: 03-5842-1920  
埼玉支店 〒340-0013 埼玉県草加市松江6-4-34  
TEL: 048-936-4981 FAX: 048-931-8570  
粉体事業所 〒340-0004 埼玉県草加市弁天4-17-18  
TEL: 048-931-2001 FAX: 048-931-2141

SN-2023-10-019



conall

conall Tone

SANOH



Conallshot

MaSty co., LTD

## 秋のおすすめ

秋冬のセール品をご紹介します

### スプレーガン

スプレーガンも消耗品です  
壊れて仕事ができなくなる前に  
予備も含めてぜひご検討ください

### ポンプ

アネスト岩田や旭サナックなど  
特価でご用意しています  
様々なモノの値段が上がる中、  
値上げ前の今が買い替え時です

### 静電ガン

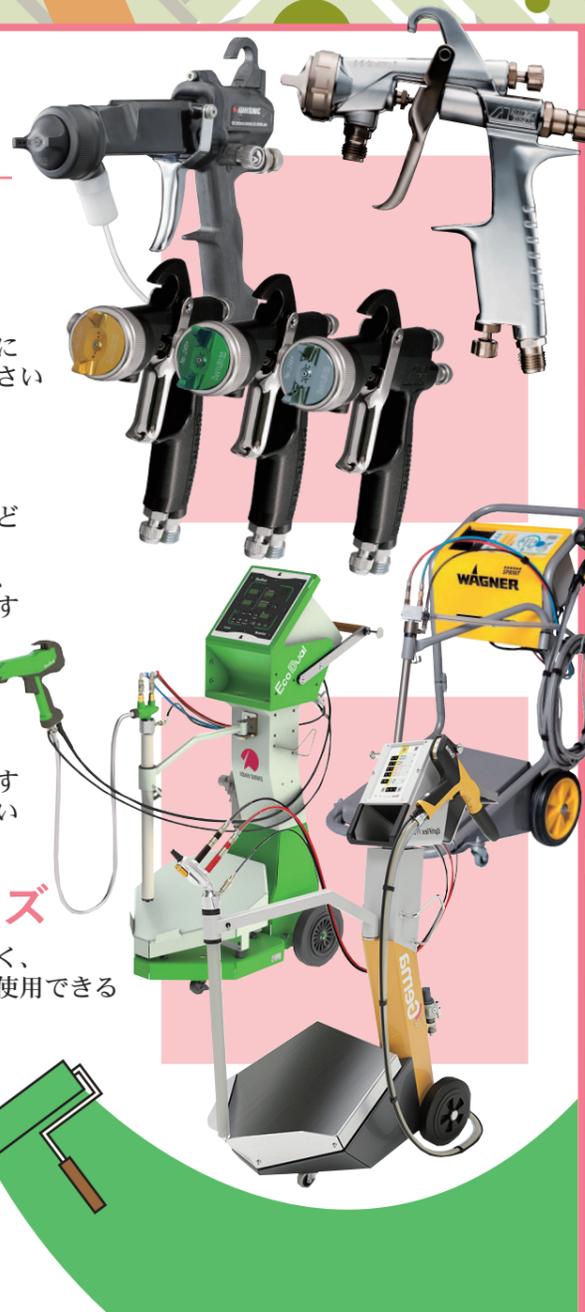
お客様の要望に合わせて  
おすすめの機種をご提案します  
デモ機の使用もご相談ください

### 静電気対策グッズ

王道のクロスタイプだけでなく、  
電源配線がなくエアのみで使用できる  
静電除去ガンも大変人気です  
不良防止の一助となります

### 床塗料

そろそろ大掃除を見据えて  
床塗料の準備をはじめるのは  
いかがですか

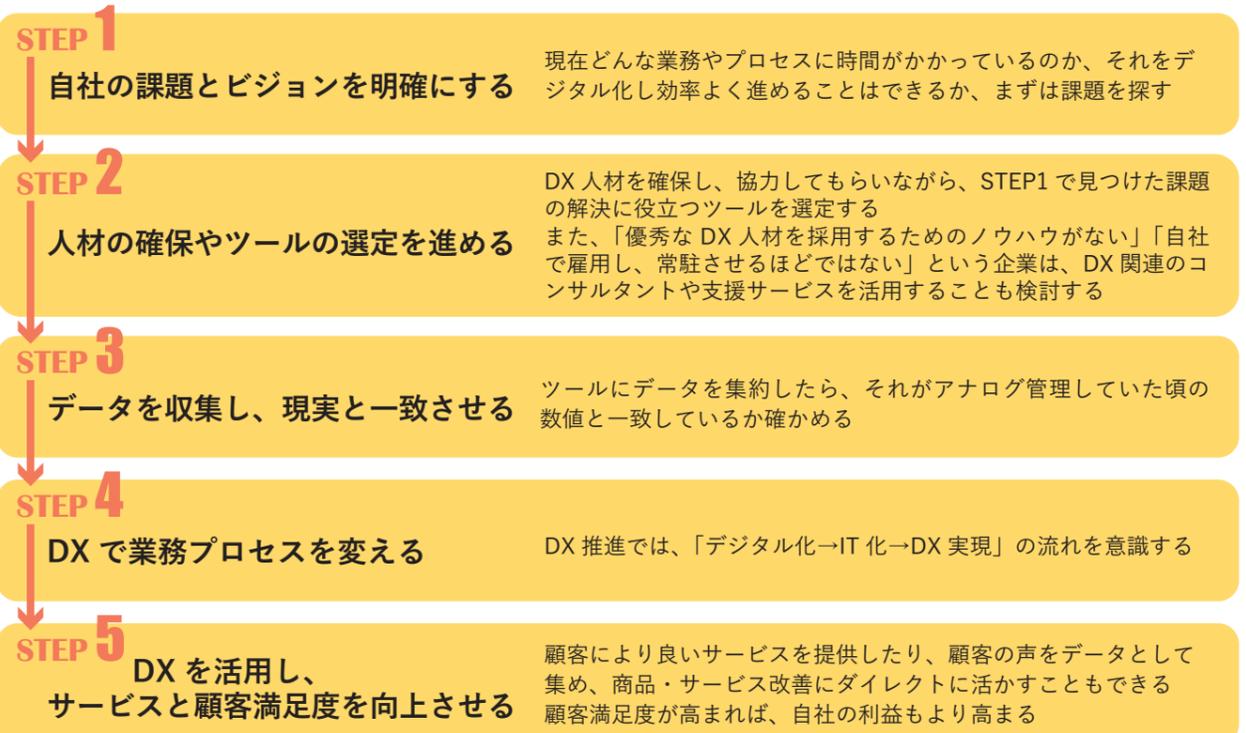


## 「DX 導入の進め方」

DX については前々号で「DX とは」、前号で「DX が注目される背景」を見てきました。  
本号では「DX 導入の進め方」について説明していきます。



DX の実際の導入プロセスは企業ごと、事業ごとに違います。しかし、DX 導入の目標や目的が「企業の変革」や「価値の創出」ですからそれは当然といえるでしょう。  
DX の対象は「商品やサービス」「流通」「組織」「社内システム」「顧客フォロー体制」などさまざまですが、「何をどのように、どの程度に変革するか」については企業の強みや弱み、企業風土などに基き企業自身が決定します。そこで、企業が DX 推進に着手するときは、「自社が DX を導入する目的」を明確にして、全体に共有する必要があります。  
今回は、DX 推進における「小規模事業者」の一般的な手順を見ていきましょう。



## 家庭内の防災・会社の防災

### 家庭内の防災

- ① 食料・飲料などの備蓄は十分でしょうか？  
食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例として  
・飲料水 3日分 (1人1日3リットルが目安)  
・非常食 3日分の食料として、ご飯 (アルファ米など)、板チョコ、乾パンなど  
・トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど
- ② 非常用持ち出しバックの準備ができていますか？  
非常時に持ち出すべきものを予めリュックサックに詰めていつでも持ち出せるようにしておきましょう。
- ③ 避難場所や避難経路を確認していますか？  
自宅の自治体や国土交通省などから防災マップやハザードマップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。



### BCP とは？

会社の防災については BCP (事業継続計画) があげられます。  
大規模自然災害や感染症の流行などといった緊急事態が発生した影響により事業を継続して行うことが困難になる状況が頻発しています。  
仮に被災したとしても事業を継続できるようにあらかじめ対処し、素早い復旧を目指す方法を定めた計画のことを BCP といいます。  
主に、従業員の安全確保や、企業の施設管理、業務体制の把握といった内容について挙げる事ができます。

三王では備蓄用の食料・水等の備蓄品を販売しています。  
詳しくは営業までお問い合わせください。

### スモールスタートでの DX 推進の推奨

小規模事業者にとっては DX の推進は必要とは思いつつも人材面や予算面などでハードルが高いと感じる方も多いと思います。  
そこで、身近な業務のデジタル化や、既存データの収集・活用、アカウント作成だけで利用開始できるクラウドサービス活用のように、実行しやすく効果の出やすいところから手を付けていくことが望ましいでしょう。特に小規模事業者の場合は、普段の業務内容や関連情報をデータとして入力するだけでも有効なデータを蓄積できるケースが少なくありません。また、身近な DX の推進での成功体験を積むことができます。そこでノウハウを蓄積し人材確保・育成に取り組み、必要であれば組織全体に拡大するという流れを進めると成功の確率を上げることができるでしょう。  
政府も中小企業向け支援を強化しており、先進事例を参考にしながらの推進がしやすくなってきています。外部の専門家の力を借りながら、デジタル技術による企業変革に乗り出すことを検討してみてください。